

2014 年度（平成 26 年度）

# 重 点 政 策

【実績まとめ】

福 山 市

福山市は 2016 年（平成 28 年）7 月 1 日に市制施行 100 周年を迎えます

## 2014年度（平成26年度）重点政策一覧（目次）

（単位：千円）

柱立て	施策名	分野					事業費 決算額 (再掲分含む)	決算額	再掲分	ページ
		教育	環境	活力	福祉	安心 安全				
チャレンジ！100周年	100万本のばらのまちづくりの推進			○			150,511	150,511		1
	福山駅周辺の中心市街地の魅力の創出			○			211,160	109,260	101,900	2
	里山里地の再生・保全		○	○			36,144	36,144		3
	環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案	○	○	○	○	○	503,643	462,300	41,343	4,5
	21世紀を担う人材育成	○				○	1,872,672	1,872,672		6
	“持続可能なまち”を創るための人材育成ネットワーク	○	○	○	○	○	10,785	4,653	6,132	7
<b>小計</b>	<b>5件</b>							<b>2,635,540</b>		
文化財の保護と活用	鞆地区町並み保存	○					2,414	2,414		8
鞆地区の再生・活性化	鞆地区まちづくりの推進	○		○		○	613,886	381,558	232,328	9
都市ブランドの創出と発信	都市ブランド戦略の推進			○			188,640	30,297	158,343	10
	観光客誘致の促進		○	○			23,630	23,592	38	11
市民の自立と参画	協働のまちづくりの推進			○			13,436	10,896	2,540	12
	市制施行100周年記念事業の推進			○			6,800	6,800		13
効率的・効果的な行政運営の推進	公共施設サービスの再構築			○			13,965	13,965		14
地域の活性化	競馬場跡地利活用の推進			○			52,848	52,848		15
	産学官連携の推進			○			2,049	2,049		16
	スマートIC（インターチェンジ）の整備			○			53,223	53,223		17
少子化対策の推進	若者交流の支援（婚活の支援）			○			304	304		18
子育て支援の充実	こどもの発達支援の充実				○		23,932	23,932		19
障がい者・高齢者福祉の充実	障がい者・高齢者の相談支援体制の充実 （成年後見制度の利用支援など）				○		87,366	87,366		20
社会参加に向けた自立支援	生活保護受給者の自立支援				○		17,514	17,514		21

(単位：千円)

柱立て	施策名	分野					事業費 決算額 (再掲分含む)	決算額	再掲分	ページ
		教育	環境	活力	福祉	安心 安全				
地域医療体制の充実	病院施設の整備					○	1,059,317	1,059,317		22
消防・救急体制の充実	消防・救急体制の整備					○	626,985	626,985		23
災害に強いまちづくり	水道施設の耐震化					○	504,537	504,537		24
	下水道施設の耐震化					○	141,648	141,648		25
安心・安全な給水の確保	出原浄水場の更新					○	1,061,607	1,061,607		26
市民の安全対策	防犯環境の整備					○	45,536	45,536		27
	歩道・自転車走行空間の整備		○			○	302,651	181,475	121,176	28
小計	21件							4,327,863		
合計	26件							6,963,403		

## 各ページの見方

柱立て:

(決算額: 千円) 担当課:  
(うち、再掲分 千円)

期間	年度(平成 年度) ~	年度(平成 年度)	数値目標
			数値実績 (2015年3月末)

【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】



【成果】

### ○決算額

決算額は、前年度から繰り越した事業費の決算額と当年度事業費の決算額の合計を表示しています。

### ○再掲分

他の施策に掲載されている事業のうち、当該施策に関係があるものについては、「再掲分」として決算額を計上しています。

柱立て:チャレンジ!100周年

## 100万本のばらのまちづくりの推進(決算額:150,511千円)

担当課: 市民局まちづくり推進部  
協働のまちづくり課  
建設局都市部公園緑地課 ほか

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### ○ばらの植栽サポートプロジェクト

- ・「福山ばら大学(第五期)」や老人大学の「ばらづくり講座」において、地域のばら栽培のリーダーを養成しました。

#### ○新たな名所、拠点となる場所の創出プロジェクト

- ・学校や公園など公共施設にばら花壇を整備しました。  
学校27校, 公園2ヶ所(春日池公園, 機織北公園)
- ・ばら公園のリニューアルや中央公民館跡地の整備など, ばらのシンボルとなる拠点の整備に取り組みました。
- ・ローズロードの基本設計を行うとともに, 沿線等の地域住民によるばら花壇整備やプランター設置を支援しました(17団体)。

#### ○全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト

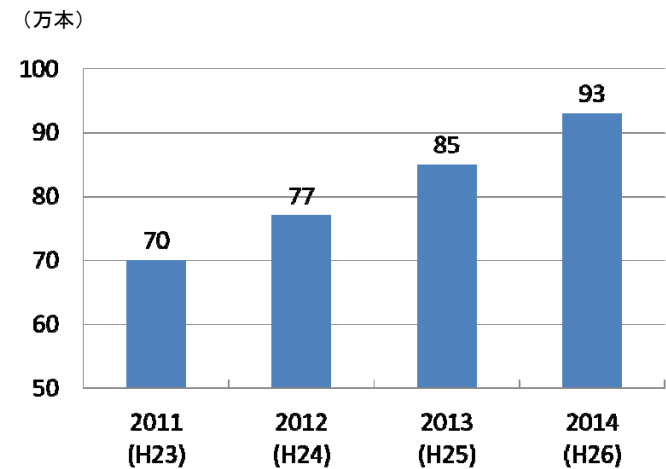
- ・新生児の誕生や小学校新1年生の入学, 新築住宅の購入者にばら苗を配布することで, 家庭でばらに親しむ環境づくりを進めました。

#### ○花だけじゃない!ばらのアピールプロジェクト

- ・市内2ヶ所において, 食用ばらの栽培を行いました。
- ・市内産の食用ばらを活用した商品開発に取り組みました。「ばらのまち福山」のアピールに取り組みました。
- ・ばらのまちづくりやばら関連施設などに関する情報発信を行いました。



【春のせん定講習の様子】



【ばら植栽本数の推移】

### 【成果】

- 市内のばらの本数: 約93万本
- 福山ばら大学などの講座修了生を中心に, 地域でばらを育てやすい環境づくりが進んでいます。
- ローズロードの整備やばら花壇の整備により, 身近にばらに親しめる環境づくりが進んでいます。
- ばらのイメージキャラクター「ローラ」やホームページによって, 全国へ「ばらのまち福山」をアピールしています。

柱立て:チャレンジ!100周年

## 福山駅周辺の中心市街地の魅力の創出(決算額:211,160千円)

(うち、再掲分 101,900千円)

担当課： 経済環境局経済部産業振興課  
観光課 ほか

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### ○ひと(人づくり)

- ・中心市街地の賑わい創出に向けた学生の活動拠点として、まちづくりLaboを開設しました。
- ・「サンタ大作戦」に加え、夏の夜店への出店など、大学生が主体のイベントを実施しました。

#### ○こと(賑わいづくり)

- ・「アートウォーク」や「ルクシアタ」に加え、新たに「えーほんdeまち歩き」の開催、うずみフェスタを3会場へ拡大するなど、イベントを充実しました。

#### ○もの(空間づくり)

- ・エフピコRiMへ、市民交流とものづくりの拠点である「ものづくり交流館」を開設し、ものづくり工房講座やイベントを実施しました。



【ひと】「まちづくりLabo」,「学生と商店街の連携イベント」(サンタ大作戦)】



【こと】えーほんdeまち歩き】



【もの】ものづくり工房講座  
(ものづくり交流館)】

### 【成果】

- 中心市街地の活性化に向け、市民が主体となった新たな賑わいを創出する取組が定着してきています。
- 秋のイベントは、中心市街地で多彩なイベントを同時期に行うことで、文化ゾーンと商業ゾーンの回遊性向上を図り、効果的な賑わいの創出ができました。(来場者数:アートウォーク 約60,000人, うずみフェスタ 約21,000人)
- 「ものづくり交流館」の開設により、市民がものづくりを体験する機会の充実などにつながっています。

## 里山里地の再生・保全(決算額:36,144千円)

担当課： 経済環境局農林水産部農林水産課  
地産地消推進課 ほか

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### ○里山里地の再生・保全活動に取り組む地域への支援

- ・里山里地モデル地域の主な取組  
赤坂町：伐採木を利用した「しいたけ」の生産  
山野町：耕作放棄地での小麦、そばの生産、講習会・交流会の開催  
山手・津之郷町：いのしし防護柵設置、竹炭・しいたけの生産
- ・耕作放棄地解消モデル地区を新規に2地区指定し、耕作放棄地の再生・活用への支援を行いました。

#### ○市民等との協働による取組

- ・地域団体と協働で活動を行う「里山里地協力隊」の育成・支援を行いました。(登録者数213人、活動数29回、参加者延人数395人)
- ・市民との協働による希少野生動植物等の生息状況の調査や、市民調査登録者を対象とした研修会を実施しました。(登録者数71人、研修会2回：参加者延人数61人)

### 【成果】

- 63aの耕作放棄地を解消しました。(耕作放棄地解消モデル地区合計27地区)
- 地域団体と里山里地協力隊との協働活動により、地域資源を生かした取組が進むなど、農山村地域の再生と活性化が図られています。
- 希少野生動植物等の生息状況調査を通じて、市民の生物多様性への理解が深められています。(市民調査報告件数88件)



【山野町「そば畑の中耕施肥」】



【山手・津之郷町「いのしし防護柵の設置」】



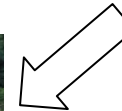
【耕作放棄地】



【再生作業】



【再生作業後】



柱立て:チャレンジ!100周年

環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案 プロジェクトI

いきいき環境・健康スローライフ(決算額:31,876千円)

(うち、再掲分 5,199千円)

担当課: 企画総務局企画政策部企画政策課

ふくやま魅力発信課

保健福祉局保健部健康推進課 (ほか)

【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

○「健康」を通じた地域活動

- ・運動普及推進員や食生活改善推進員の養成, 活動支援 (養成者数: 運動普及推進員 19人, 食生活改善推進員 28人)
- ・地域の魅力を探るウォーキングを実施しました。

○「農」を通じた地域活動

- ・「里山里地協力隊」の育成・支援 (※再掲)
- ・耕作放棄地の再生・活用への支援 (※再掲)

○都市と農村漁村の交流推進 (※再掲)

- ・里山体験と若者交流を行う里山コンを実施しました。

○食育・地産地消の推進

- ・学校や保育所給食への市内産農産物の使用を拡大しました。

○新たな商品づくり

- ・新たな商品開発や販路開拓の取組への支援 (※再掲)

【成果】

- 地域団体と「里山里地協力隊」との協働活動により, 地域資源を生かした取組が進んでいます。
- 都市住民の里山里地への理解や交流が深まっています。
- うずみなどの郷土料理を通して, 地産地消や食育の理解向上につながっています。  
(福山うずみフェスタ来場者 21,000人)  
(市内産農産物を直接納入している施設 小学校 69校  
給食センター2所 保育所 26所)
- 福山産の「生姜」を活用した新商品が開発されました。



【しいたけのこま打ち (山手町)】



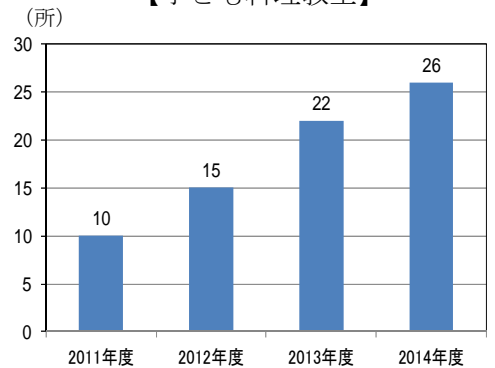
【運動教室】



【市内農産物を使用した新商品】



【子ども料理教室】



【市内農産物納入保育所数】



## 柱立て:チャレンジ!100周年

環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案 プロジェクトⅡ

# 環境にやさしく活力ある地域社会の構築(決算額:471,767千円)

(うち、再掲分 36,144千円)

担当課:経済環境局環境部環境総務課

環境啓発課

建設局都市部都市交通課 ほか

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### (1) エネルギーの地産地消・家庭や地域での温暖化対策

- ・住宅への太陽エネルギーの導入促進に取り組みました。  
補助件数 826件(太陽光 744件, 太陽熱 82件)
- ・環境教育, 環境学習におけるパートナーシップの構築に取り組みました。(環境学習出前講座 150回実施, 環境教育・環境学習講師紹介 個人60人 事業者21社 団体10団体)
- ・公共施設へ緑のカーテンを設置しました。(197施設)

#### (2) 交通手段の変更

- ・ノーマイカー運動(ベスト運動)を推進しました。(ベスト会員登録者数 19,700人)
- ・自転車マップを作成しました。(10,000部)
- ・自転車と歩行者の双方が安全に安心して道路を利用できるように自転車走行空間を整備しました。(福山駅南手城幹線整備延長L=450m, 千田一文字幹線 整備延長L=650m)

#### (3) 環境観光の振興

- ・環境関連施設へのバス見学を行いました。(21回)



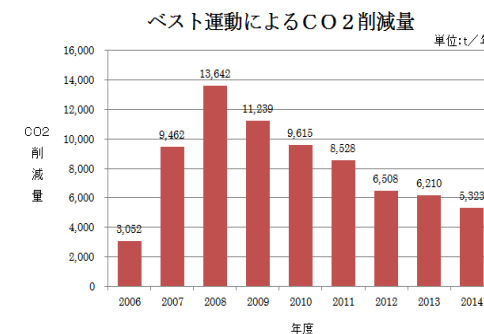
【公共施設への緑のカーテン設置】



【自転車走行空間の整備】



【自転車マップ】



【ベスト運動によるCO<sub>2</sub>削減量】

### 【成果】

- ベスト運動により, 二酸化炭素を5,323トン削減しました。
- 歩行者と自転車の利便性・安全性の向上につながっています。

地域の特性を生かして学校と住民が連携して取り組む環境活動が全国表彰されました。

<受賞した環境学習推進校>

○赤坂小学校

・地球温暖化防止活動「環境大臣賞」 受賞

・エネルギー教育賞「優秀校」 受賞

○蔵王小学校

・リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞 受賞

柱立て:チャレンジ!100周年

## 21世紀を担う人材育成(決算額:1,872,672千円)

担当課: 教育委員会管理部教育総務課 施設課  
学校教育部指導課 ほか

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### ○小中一貫教育の推進

- ・小中一貫教育カリキュラムの作成・改善(全35中学校区)
- ・連携型小中一貫教育推進モデル中学校区の指定(3中学校区)
- ・小中教員の合同研修の実施(全35中学校区)
- ・「大好き!福山~ふるさと学習~」副読本の作成・配付
- ・学校教育環境検討委員会を開催(7回)し、答申を受けました。(2年間で10回開催)

#### ○地域学習活動の支援(土曜チャレンジ教室)

- ・3会場(2中学校区及びエフピコRiM教室)の新規開設(合計16会場)

#### ○学校施設の耐震化

- ・屋内運動場整備,校舎改修,天井落下防止対策



【小中教員の合同研修】



【乗り入れ授業】



【「大好き!福山~ふるさと学習~」副読本】



【学校教育環境検討委員会】

### 【成果】

#### ○小中一貫教育の推進

- ・小中一貫教育の取組により,基礎学力の定着や不登校児童生徒の減少の兆しが見られます。

#### ○地域学習活動の支援(土曜チャレンジ教室)

- ・児童生徒の学習習慣の定着や学習意欲の向上が見られます。
- ・市中心部に土曜チャレンジ教室の拠点(エフピコRiM教室)を開設し,地域で学習できる場の充実を図りました。



【土曜チャレンジ教室の様子】



【網引小学校耐震補強工事】

柱立て:チャレンジ!100周年

## “持続可能なまち”を創るための人材育成ネットワーク (決算額:10,785千円) (うち,再掲分 6,132千円)

担当課: 市民局まちづくり推進部生涯学習課  
協働のまちづくり課 ほか

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### ○「学び・気づき・考える」機会の提供(4講座)

地域づくりへの関心を高めるための講座等を開催しました。

・福山市都市ブランド戦略推進講座, ふくやま人権大学 ほか

#### ○実践的な知識や技術の提供(7講座)

地域でまちづくりを進めていく上で必要な知識や技能を身に付ける専門講座を開催しました。

・里山里地保全活動リーダー養成講座, 青年のまちづくり参画推進講座 ほか

#### ○市民の活躍のステージ(4講座)

修了者の活躍の場として, 講座運営の協力や講師等の実践的な機会を提供しました。

・福山防災大学, ふくやま・まちづくり大学, ふくやま環境大学 ほか



【ふくやま・まちづくり大学(公開講座)】



【福山ばら大学(春のせん定実技講習)】



【ふくやま環境大学(施設見学)】

### 【成果】

○行政の出前講座の講師や講座の企画・運営に参画する人が育っています。

○各種養成講座を通して, まちづくりの原動力となる市民の理解が深まっています。(延べ373回, 延べ8,786人)

## 靱地区町並み保存(決算額:2,414千円)

担当課： 教育委員会文化スポーツ振興部文化課

期 間	2007 年度（平成 19 年度）～	数 値 目 標	町並み保存事業補助件数 6 件
		数 値 実 績 (2015年3月末)	町並み保存事業補助件数 3 件

### 【2014年度（平成26年度）に取り組んだこと】

#### ○町並み保存事業補助

町並み保存地区内の建造物などの修理・修景を支援し、歴史的景観の整備を進めました。

- ・補助件数 3 件（修理 3 件）

#### ○町並み保存の啓発

住民が町に愛着や誇りを持てるよう、靱の町並みの魅力などについて住民に分かりやすい内容の講演会を行いました。

- ・「靱 町並みの魅力」 参加者数 約 40 人
- ・「新発見！ 靱の社寺建築の魅力」 参加者数 約 60 人



【応急処置前】



【応急処置後】

### 【成果】

○市単独の補助事業により、貴重な文化財である靱の町並みを守っています。(2014 年度（平成 26 年度）までに 66 件の事業を実施)



【講演会の様子】

柱立て: 鞆地区の再生・活性化

## 鞆地区まちづくりの推進(決算額:613,886千円) (うち,再掲分 232,328千円)

担当課: 建設局都市部都市計画課 企画総務局総務部総務課  
教育委員会文化スポーツ振興部文化課  
消防局総務部総務課 上下水道局工務部下水道建設課

期間	2005年度(平成17年度)～
----	-----------------

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### (1) 鞆地区公共施設整備

鞆支所・鞆公民館再整備に向け既存施設を解体し、建設工事に着手しました。

#### (2) 鞆地区都市整備用地便所整備

地域の広場として活用されている用地内の老朽化した便所を更新しました。

#### (3) 下水道整備

快適で衛生的な生活環境を確保するため、汚水管渠の整備を行いました。

#### (4) 鞆地区町並み保存(※再掲)

#### (5) 南消防署鞆出張所の改築(※再掲)

### 【成果】

○鞆地区の生活環境や鞆を訪れる観光客の快適性の向上, 鞆地区を中心とした市南部の地域防災機能の強化, 歴史的景観の保全につながっています。



【鞆支所・鞆公民館完成イメージ図】



【鞆地区都市整備用地便所整備】

柱立て：都市ブランドの創出と発信

## 都市ブランド戦略の推進(決算額:188,640千円) (うち、再掲分 158,343千円)

期間 2014年度(平成26年度)～

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### (1) 都市ブランド戦略の推進

- ・福山ブランド認定・登録制度を創設しました。  
(応募数：認定品部門121件，登録活動部門59件)
- ・都市ブランドロゴマークを活用し，魅力の発信に取り組みました。

#### (2) 「福山らしさ」の発信

- ・「福山うずみフェスタ2014」を開催しました。(来場者21,000人)
- ・島田荘司選 第7回ばらのまち福山ミステリー文学新人賞を選定しました。(応募数：日本全国や海外から68点)
- ・まんが「福山を知ローゼ」の制作・販売
- ・観光大使「ウルヴァリン」や福山・鞆の浦応援特別大使「岩佐美咲(AKB48)」を活用した観光PR(※再掲)
- ・100万本のばらのまちづくりの推進(※再掲)

### 【成果】

○ばらのまち福山ミステリー文学新人賞や観光大使，福山うずみフェスタ2014などの取組を通じて，福山の知名度や魅力の向上につながっています。

○まんが「福山を知ローゼ」などを通して，子どもたちが福山の歴史に触れることで郷土への愛着や誇りをはぐくんでいます。

第2集「まんが物語 井伏鱒二」販売，第3集「まんが物語 窪田次郎」作画製本  
第4集「まんが物語 100年物語」原作制作 原作完成

担当課： 企画総務局企画政策部ふくやま魅力発信課  
経済環境局経済部観光課  
市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課  
教育委員会文化スポーツ振興部文化課



【福山市都市ブランドロゴマーク】



【福山を知ローゼ まんが物語 窪田次郎】



【岩佐美咲さんとの観光PR】



【ばらのまち福山ミステリー文学新人賞  
第7回受賞作発表記者会見】



【ウルヴァリン：FUKUYAMA】



【春のせん定講習】

柱立て：都市ブランドの創出と発信  
**観光客誘致の促進(決算額:23,630千円)**  
 (うち、再掲分 38千円)

担当課： 経済環境局経済部観光課

期間	2014年度(平成26年度)～2017年度(平成29年度)	数値目標	総観光客数：710万人【2016年(平成28年)】
		数値実績 (2015年3月末)	2014年(平成26年)総観光客数：676万人

**【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】**

**(1) 観光客実態調査**

観光客の実態調査や統計分析を行いました。

**(2) 観光情報・発信媒体の整備・充実**

- ・福山駅観光案内所を移設し、利便性を高めました。
- ・観光パンフレット「ふくやま」等を作成しました。

**(3) 観光大使「ウルヴァリン」や福山・鞆の浦応援特別大使「岩佐美咲(AKB48)」を活用した取組**

- ・岩佐美咲さんやテレビドラマ「流星ワゴン」を通じて、全国に鞆の浦のPRを行いました。
- ・新種のばら「ウルヴァリン：FUKUYAMA」を福山駅や鞆の浦に植樹するとともに、苗を各種イベントで配布しました。

**(4) 環境観光(産業観光)の推進(※再掲)**

産業・環境観光PRパンフレットの作成・配布(15,000部)



【観光客実態調査の様子：秋のばら展】



【観光パンフレット】



【岩佐美咲さんとの観光PR】



【ウルヴァリン：FUKUYAMA】

**【成果】**

○積極的に観光情報をPRすることにより、観光客数の増加につながっています。(対前年比：3.5%増)

柱立て：市民の自立と参画

## 協働のまちづくりの推進(決算額:13,436千円) (うち、再掲分 2,540千円)

担当課： 市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課

期間	2005年度(平成17年度)～	数値目標	「地域まちづくり計画」策定学区数 40学区
		数値実績 (2015年3月末)	「地域まちづくり計画」策定学区数 30学区

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

- (1) 「ふくやま・まちづくり大学」の開講(※再掲)
  - ・29講座を開催し、延べ1,698人が受講(修了生39人)
  - ・コーディネーター制度創設による修了生の活躍の場づくり(コーディネーター登録21人)
- (2) 「地域まちづくり計画」の策定・推進の支援
  - ・地域まちづくり計画の策定や事業の推進に向けた支援
- (3) 「まちづくりサポートセンター」の設立
  - ・ボランティア・NPO等への活動支援(登録101団体・企業)

### 地域まちづくり計画策定



【まちの将来像を描く】

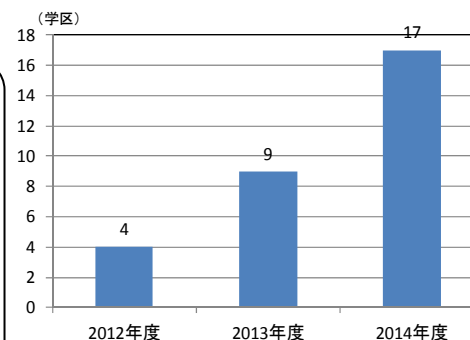
### 地域まちづくり計画推進



【地域課題を住民と行政が協働で解決する】

### 【成果】

- 「ふくやま・まちづくり大学」のコーディネーターが講座の企画・運営に携わるなど、学びを通じたまちづくりへの参画が行われました。
- 「地域まちづくり計画」により、地域の特性や実態に応じたまちづくりが進んでいます。
- 「まちづくりサポートセンター」によるボランティア・NPO等の市民活動の情報発信や登録制度を活用した仲介などにより、多様な主体がつながる仕組みが構築されました。



【「地域まちづくり計画」策定学区数】



【多様な主体がつながる】  
(「まちサポ」登録団体交流会)



柱立て：市民の自立と参画

## 市制施行100周年記念事業の推進(決算額:6,800千円)

担当課： 企画総務局企画政策部企画政策課

期 間	2014年度(平成26年度)～2016年度(平成28年度)
-----	-------------------------------

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### (1) プレイベントの実施

市制施行100周年に向けた機運を高めるため、記念事業のプレイベントを企画・実施しました。

- ・市民提案型イベント(プレイベント, 100周年事業)の募集, 審査  
応募件数: 121件(プレイベント: 45件, 100周年事業: 76件)
- ・「～つなげようローズマインド～ローズバトンリレー」の開催  
参加者: 約4,000人 運営参加者: 約3,000人

#### (2) 広報・PR事業の実施

基本構想に掲げる「100周年記念事業への全員参加」「100万本のばらのまち福山」の実現に向け、広報・PR事業を実施しました。

- ・公式ホームページ, フェイスブックページの開設
- ・AKB48「心のプラカード」ミュージックビデオを活用したPR  
動画撮影参加人数: 1,036人
- ・福山ばら祭や福山夏まつりなどでのPR
- ・500日前イベント「カウントダウン500」の開催 など

### 【成果】

○市民参加による広報・PR活動やイベントを行うことにより, 多くの市民の参加を促すことができ, 100周年に向けた機運を高めることにつながっています。



【心のプラカード撮影時の集合写真】



【福山ばら祭や福山夏まつりでのPR】



【～つなげようローズマインド～ローズバトンリレー】

## 柱立て:効率的・効果的な行政運営の推進

# 公共施設サービスの再構築(決算額:13,965千円)

担当課： 財政局財政部資産経営戦略課

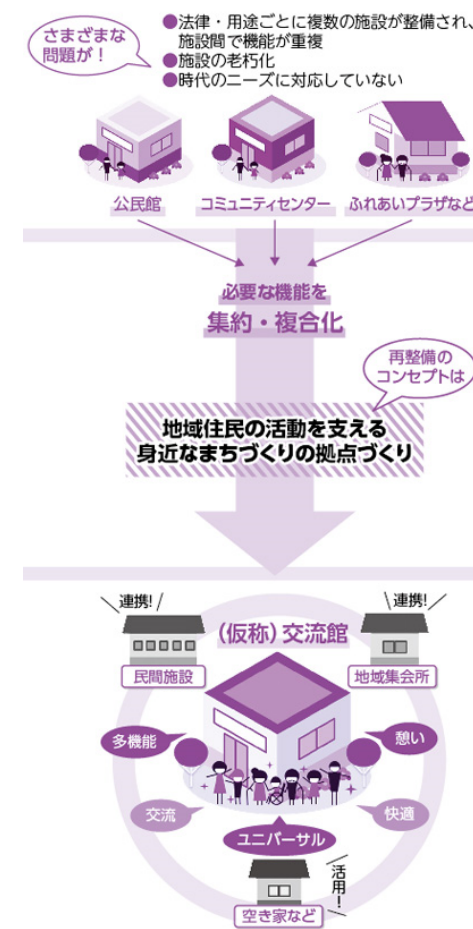
期間 2011年度(平成23年度)～

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

- 各種市民団体や施設利用者などで構成する福山市地域交流施設等再整備懇話会を設置し、意見を聴きながら、公民館、コミュニティセンター、ふれあいプラザなど地域交流施設の再整備にあたっての基本的な考え方の整理に取り組みました。
- 公共施設マネジメントシステムを構築し、運用を開始しました。

### 【成果】

- 「福山市地域交流施設等再整備基本方針(素案)」を作成しました。また、パブリックコメントを実施し、広く市民からの意見を募集しました。



【地域交流施設等の再整備のイメージ図】

柱立て：地域の活性化

## 競馬場跡地利活用の推進(決算額:52,848千円)

期 間	2013 年度（平成 25 年度）～
-----	--------------------

### 【2014年度（平成26年度）に取り組んだこと】

- 競馬場跡地利活用基本構想を策定し、跡地利活用の基本コンセプト「水と緑に包まれた健やか・未来ふくやま創造交流拠点」や導入する機能等を定めました。
- 基本構想に基づき、跡地利活用の全体像（ゾーニングなど）や新たに整備する総合体育館の導入機能等を示した、競馬場跡地利活用基本計画を策定しました。

#### <総合体育館・公園の整備スケジュール（案）>

- 2015 年度（平成 27 年度）～2016 年度（平成 28 年度）頃  
施設整備に向けた計画・設計
- 2017 年度（平成 29 年度）～2018 年度（平成 30 年度）頃  
工事着手
- 2019 年度（平成 31 年度）頃～  
総合体育館、公園等の順次供用開始

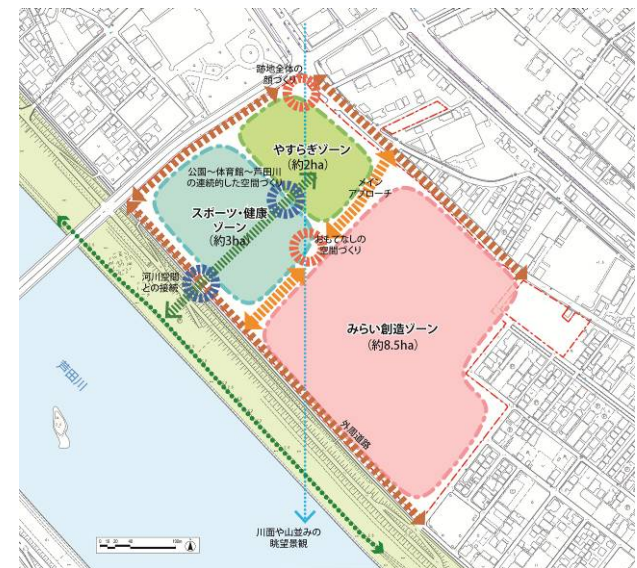
### 【成果】

- 競馬場跡地が、市の将来の発展の礎となるとともに、市民にとって希望ある未来と心安らぐ豊かな暮らしが実感できるものとなるよう、具体的な取組が進んでいます。

担当課： 企画総務局企画政策部企画政策課



【福山市営競馬場跡地利活用検討懇話会】



【ゾーニング計画・動線計画及び空間形成の方針】

柱立て:地域の活性化

## 産学官連携の推進(決算額:2,049千円)

期 間	2011年度(平成23年度)～
-----	-----------------

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### (1) 市立大学との連携事業

「協働のまちづくり」,「福山市の保幼小連携に関する研究」など6つのテーマについて,市と市立大学が共同で調査研究を行いました。

#### (2) 福山大学との連携事業

「福山市と福山大学との連携に関する包括協定」に基づき,福山市・福山大学連絡協議会を設置し,「地元産品・特産品を使用した商品開発」など6つのテーマについて,市と福山大学が連携して取り組みました。

#### (3) 産学官連携の推進

企業と大学とのマッチング機会の充実やセミナー情報の一元化のために,市ホームページにポータルサイトを開設しました。また,学生の就職観等に関する調査を実施しました。

### 【成果】

#### (1) 市立大学との連携事業

地域まちづくり計画の策定やまちづくりへの学生の参画,保幼小の連携を深めることなどができました。

#### (2) 福山大学との連携事業

地元産品を使用した商品開発による地域振興のほか,地域振興の中心となる幅広い知識を持った人材育成などの取組が進んでいます。

#### (3) 産学官連携の推進

ビジネス交流フェアへ大学と行政が参加するほか,ポータルサイトの運用など,産学官が効果的に連携できる仕組みを充実させました。

担当課: 企画総務局企画政策部企画政策課



【市立大連携(保幼小連携):合同避難訓練の様子】



【福山大学連携:福山ばらの酵母を使用したパン】  
(出典:福山大学ホームページ)



【ビジネス交流フェアの様子】

柱立て:地域の活性化

## スマートIC(インターチェンジ)の整備(決算額:53,223千円)

担当課: 建設局土木部幹線道路推進室

期間	2012年度(平成24年度)~2017年度(平成29年度)
----	-------------------------------

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

- 福山SA(サービスエリア)スマートIC設置に関する設計細目協定を、西日本高速道路(株)と締結しました。
- アクセス道路(津之郷4号線)について地元関係自治会への事業説明会を開催しました。
- 警察との協議や県・西日本高速道路(株)との連携・協議を行いました。

### 【成果】

- スマートIC本体に関する測量設計を実施しています。
- アクセス道路(津之郷4号線)の測量設計を実施しました。



【(仮称)福山SAスマートIC完成予想図】



【上り線】



【下り線】

柱立て:少子化対策の推進

## 若者交流の支援(決算額:304千円) (婚活の支援)

担当課: 保健福祉局福祉部福祉総務課  
経済環境局経済部経済総務課  
企画総務局企画政策部企画政策課 ほか

期間 2014年度(平成26年度)~2016年度(平成28年度)

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### 若者交流促進協議会の設立

結婚を希望している独身者を応援するため、官民協働で協議会を立ち上げ、支援策を検討しました。(構成団体:10団体)

#### ふくやまde愛サポーターの育成

若者の結婚を応援するボランティア“ふくやまde愛サポーター”の育成に取り組みました。

#### 出会いのきっかけの提供

独身者同士の出会いのきっかけを提供する交流イベントを開催しました。



### 【成果】

#### ふくやまde愛サポーター

地域で活動する“地域サポーター”と職場で活動する“企業サポーター”を認定しました。

- ・地域サポーター 16人
- ・企業サポーター 7人

#### 交流イベントの開催

- ・開催回数 1回
- ・参加者 男女各29人



### 【交流イベント】

ときめき♥バレンタイン

カップリングパーティ

日時 2月14日(土)

場所 エフピコR i M 9F

スカイホール

柱立て:子育て支援の充実

こどもの発達支援の充実(決算額:23,932千円)

担当課： 保健福祉局児童部保育課 保健部健康推進課  
こども発達支援センター  
教育委員会学校教育部指導課

期 間	2014 度（平成 26 年度）～
-----	-------------------

【2014年度（平成26年度）に取り組んだこと】

(1) ふくやま子育て応援センター（キッズコム）での取組

- ・「ことばの相談室」の拠点を設置しました。
- ・育児総合相談（育児・発達・栄養相談）や3歳児健康診査の未受診者を対象とした幼児発達相談を実施しました。（育児総合相談 7回 幼児発達相談 1回）
- ・市立大学等と連携した研修を実施しました。（担当者研修 6回 関係者全体研修 2回）

(2) こども発達支援センターにおける取組

- ・専門医による医療を実施し、保育所・幼稚園・療育機関・保健師・教育機関・医療機関等と連携を図りました。

【成果】

- 困難事例のケース会議を行うなど、市内8か所の「ことばの相談室」への支援を行いました。
- 相談支援体制の充実により、育児や発達に関する相談が増えるとともに、早期発見・早期対応につながっています。（育児総合相談 41件 幼児発達相談 8組）
- 市立大学等と連携した研修により、子育て支援・発達障がい児支援に携わる者（保育士など）のスキルアップにつながっています。
- こども発達支援センター延利用人数 3,727人



【グループ指導】

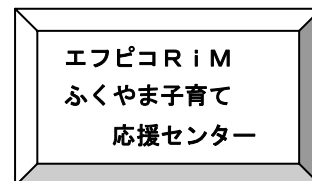
ことばの相談室の充実

【障がい児保育・特別支援教育研修会】



人材育成

育児相談の充実



幼児健康診査の充実

こども発達支援センター



専門の相談・医療（診察・検査・訓練）

柱立て：障がい者・高齢者福祉の充実

## 障がい者・高齢者の相談支援体制の充実(決算額:87,366千円) (成年後見制度の利用支援など)

担当課：保健福祉局福祉部障がい福祉課  
長寿社会応援部高齢者支援課

期 間	2013年度(平成25年度)～	数 値 目 標	市民後見人の養成人数 30人
		数 値 実 績 (2015年3月末)	市民後見人の養成人数 17人

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### (1) 障がい者相談支援体制の強化

基幹相談支援センターにおける障がいのある人への相談支援体制を充実するとともに、障がい者虐待防止センターによる虐待の早期発見・早期対応に取り組みました。

#### (2) 成年後見制度の利用支援

認知症高齢者や障がいのある人などで十分な判断ができない人が容易に成年後見制度を利用できるよう、制度の利用に関する相談支援や普及啓発を行いました。また、制度の新たな担い手となる市民後見人の養成に取り組みました。



【市民後見人養成講座】

### 【成果】

○相談支援体制の充実により、虐待の早期発見・早期対応につながっています。

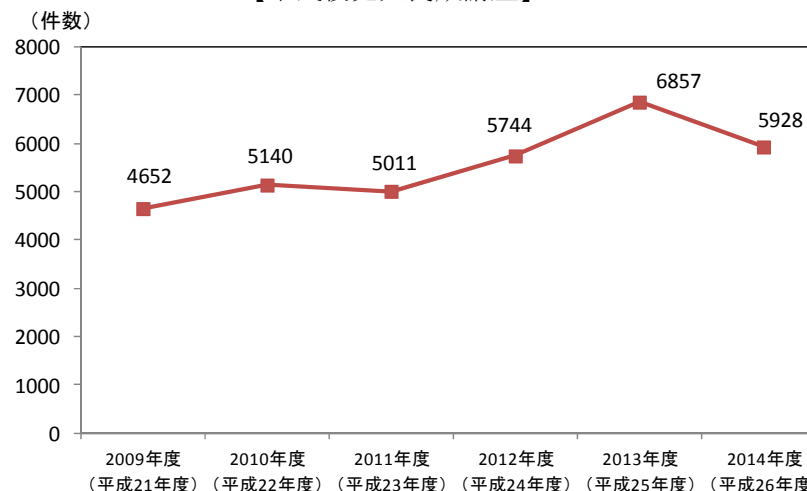
(基幹相談支援センターの利用状況)

- ・総合相談・専門相談 5,928件
- ・障がい者虐待の相談・通報 37件

○成年後見制度を周知・啓発することで、センターの利用につながりました。

(権利擁護支援センターの利用状況)

- ・成年後見制度などに関する相談 157件



障がい者(児)総合相談・専門相談の件数



柱立て：社会参加に向けた自立支援

生活保護受給者の自立支援(決算額:17,514千円)

担当課： 保健福祉局福祉部生活福祉課

期 間	2012年度(平成24年度)～	数 値 目 標	自立支援プログラムの選定件数※ 300件 (※働く能力がある生活保護受給者への個別就労支援実施件数)
		数 値 実 績 (2015年3月末)	自立支援プログラムの選定件数 290件

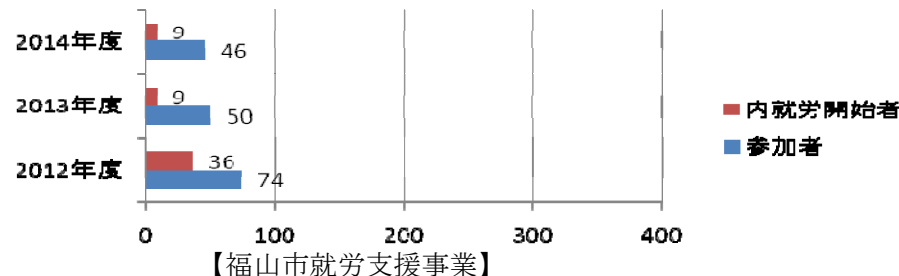
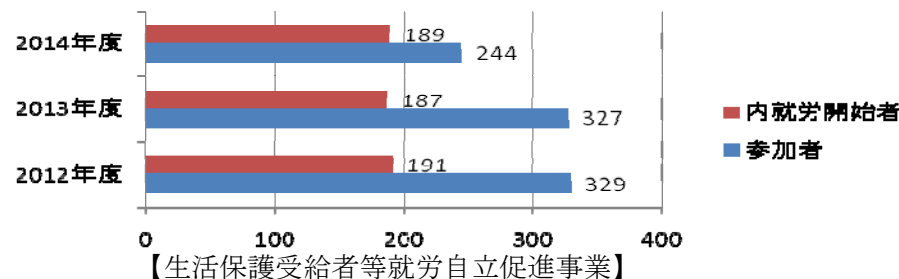
【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

○就労支援事業

生活保護受給者で就労可能な人に対し、細やかな支援を行うため、就労相談専門員を配置するとともに、ハローワークや他の支援機関と連携し、職業紹介や就職活動の支援等に取り組みました。

○子どもの健全育成支援事業

家庭・教育支援員、家庭訪問員を配置し、高校進学への支援や不登校等の改善支援を行いました。また、「子どもの居場所」を開設し、進路・生活相談や学習支援等にも取り組みました。



【成果】

○就労支援事業

生活習慣の改善指導やコミュニケーション力の向上などの支援を行うことにより、就労開始へつなげることができました。

○子どもの健全育成支援事業

支援員などによる家庭支援や「子どもの居場所」参加の取組によって、高校進学率の向上や不登校改善につながっています。

- ・「子どもの居場所」開催回数 54回 参加人数 延べ672人



【「子どもの居場所」での支援の様子】

柱立て:地域医療体制の充実

## 病院施設の整備（決算額:1,059,317千円）

担当課： 福山市民病院事務部経営企画課

期 間	2014 年度（平成 26 年度）
-----	-------------------

### 【2014年度（平成26年度）に取り組んだこと】

#### （1）手術支援ロボットシステム整備

県東部で初めてとなる内視鏡手術支援ロボットシステムを導入しました。

#### （2）放射線治療装置整備

手術療法，化学療法と並ぶがんの三大治療法の一つである放射線治療法に用いる装置を最新機器に更新しました。



【内視鏡手術支援ロボットシステム】

### 【成果】

○先進的な高度医療機器の整備により，手術の正確性・安全性を高めるほか，治療効果の向上や患者の身体的負担の軽減など，高度で良質な医療の提供につながっています。



【放射線治療装置】

柱立て:消防・救急体制の充実

## 消防・救急体制の整備(決算額:626,985千円)

担当課: 消防局総務部総務課

期間 2005年度(平成17年度)～

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### (1) 南消防署輦出張所の改築

建設工事を行いました。

- ・事業期間 2012年度(平成24年度)～2014年度(平成26年度)
- ・建物概要 鉄筋コンクリート造 5階建
- ・延べ面積 1,451.13㎡

#### (2) 消防救急デジタル無線設備整備

消防救急デジタル無線(260MHz帯)設備(活動波)の整備を行いました。



【南消防署輦出張所】

### 【成果】

- 輦地区を中心とした市南部を管轄する防災拠点として、南消防署輦出張所が完成し、2014年(平成26年)10月10日から業務を開始しました。
- 2016年(平成28年)5月末の消防救急デジタル無線移行に向け、計画どおり事業を実施しました。



【消防救急デジタル無線イメージ図】

柱立て:災害に強いまちづくり

## 水道施設の耐震化(決算額:504, 537千円)

担当課： 上下水道局施設部施設整備課

期 間	2007 年度（平成 19 年度）～
-----	--------------------

### 【2014年度（平成26年度）に取り組んだこと】

地震などの災害に強い安定した水道の給水体制を確立するため、水道施設の耐震化や耐震補強を行いました。

#### （1）取水施設の耐震補強

中津原浄水場の取水施設（取水路\*）の耐震補強工事を行いました。

- ・延長 150m（開水路 120m，暗渠 30m）

※取水路・・・河川から取水する水路

#### （2）水質管理センター棟の改築

2015 年度（平成 27 年度）の完成に向け，老朽化した中津原浄水場の水質管理センター棟の改築工事を行いました。

- ・鉄筋コンクリート造 5 階建（延床面積約 2,700 m<sup>2</sup>）

### 【成果】

○災害に強い施設の整備を行うことにより，水道機能の停止の抑制につながっています。



【取水施設の耐震補強】



【水質管理センター棟（施工中）】

柱立て:災害に強いまちづくり

## 下水道施設の耐震化(決算額:141,648千円)

担当課： 上下水道局工務部下水道施設課

期 間	2014年度(平成26年度)～2018年度(平成30年度)
-----	-------------------------------

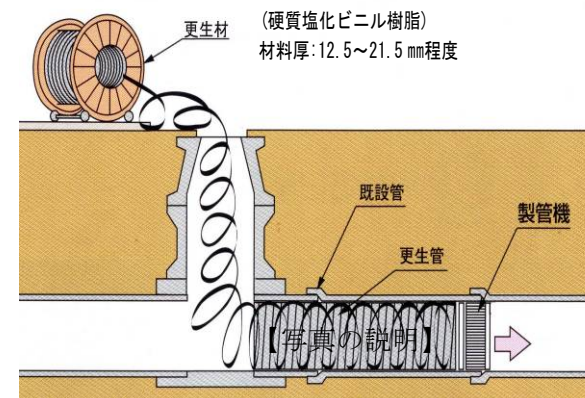
### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

下水道総合地震対策計画に基づき、防災拠点(市役所本庁舎)や広域避難場所(東桜町緑地, 福山城公園, 中央公園)から流域下水道幹線までの下水道施設の耐震化を進めました。

#### ○下水道管渠の耐震化

管渠の接続部の離脱やマンホールからの抜け出しを防止する工事等を行いました。

延長 269.7m



【下水道管渠耐震化工事イメージ】

(既設管渠の中に、地震に強い管を新たに造る)



【下水道管渠耐震化工事完成】

### 【成果】

○下水道総合地震対策計画に基づく整備を行うことにより、地震による下水道機能の停止の抑制につながっています。

柱立て:安心・安全な給水の確保

## 出原浄水場の更新(決算額:1,061,607千円)

担当課: 上下水道局施設部施設整備課

期 間	2010年度(平成22年度)~2015年度(平成27年度)
-----	-------------------------------

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

計装設備の設置を始め、2013年度(平成25年度)に着手した電気設備の設置、導水管の布設や布設替、取水ポンプの取替を行いました。

#### (1) 計装設備の設置

浄水場の運転を管理するための計装設備の設置を行いました。

#### (2) 電気設備の設置

場内施設を動かすための電気設備の設置を行いました。

#### (3) 導水管の布設及び布設替

導水管<sup>※1</sup>(口径200mm~500mm)の布設や布設替を行いました。

#### (4) 取水ポンプの取替

取水ポンプ(2.33m<sup>3</sup>/分 揚程<sup>※2</sup>22m 出力18.5kW)14台の取替を行いました。

※1 導水管・・・河川・井戸から取水した水を浄水場内へ導く管

※2 揚 程・・・ポンプの水をあげる高さ



【完成予想図】



【導水管の布設状況】

柱立て:市民の安全対策

## 防犯環境の整備(決算額:45,536千円)

担当課： 企画総務局総務部総務課 市民局市民部生活安全推進課  
まちづくり推進部生涯学習課 教育委員会文化スポーツ  
振興部社会教育・スポーツ振興課 文化課

期 間 2014年度(平成26年度)～2016年度(平成28年度)

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### ○地域や公共施設等への防犯カメラの設置

自治会や事業者による防犯カメラの設置を支援するとともに、駅周辺等の公共空間や公共施設に防犯カメラを設置しました。

#### <設置台数>

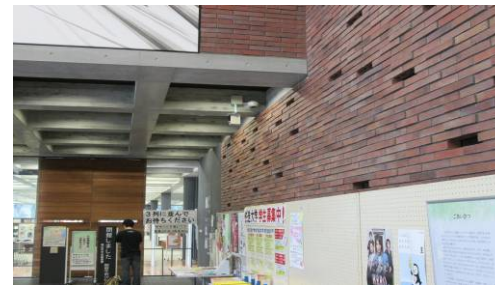
- ・自治会や事業者による設置 35台
- ・公共空間への設置 30台
- ・公共施設への設置 36台



【公共空間】

### 【成果】

○地域や公共施設に防犯カメラを設置することで、犯罪の発生を抑制するなど、住民の安心・安全の確保につながっています。



【生涯学習プラザ  
(まなびの館ローズコム)】



【緑町公園屋内競技場(ローズアリーナ)】

柱立て:市民の安全対策

## 歩道・自転車走行空間の整備(決算額:302,651千円)

(うち,再掲分 121,176千円)

担当課: 建設局土木部道路整備課

期間	2002年度(平成14年度)~2020年度(平成32年度)
----	-------------------------------

### 【2014年度(平成26年度)に取り組んだこと】

#### (1) 歩道のバリアフリー化

高齢者や障がいのある人などが移動の際に身体の負担が軽減されるよう、移動の利便性や安全性を高めるために、歩道のバリアフリー化に取り組みました。

- ・福山駅周辺地区(草戸松浜幹線)整備延長L=200m
- ・東福山地区(東福山駅前幹線外1路線)整備延長L=350m

#### (2) 自転車走行空間の整備(※再掲)

自転車と歩行者の双方が安全に安心して道路を利用できるように、自転車走行空間の整備に取り組みました。

- ・福山駅南手城幹線 整備延長L=450m
- ・千田一文字幹線 整備延長L=650m



【歩道の整備(バリアフリー化)】



【自転車走行空間の整備】

### 【成果】

○歩行者と自転車の利便性・安全性の向上につながっています。